

社会科学学習指導案

指導者 迫 眞 也

日時 平成27年11月21日（土） 第1校時（10：00～10：50）
年組 中学校第3学年2組 計40名（男子20名，女子20名）
場所 中学校第3学年2組教室
単元 みんなと一緒に考えよう，みんなのために考えよう ―東雲村を救え！2018―

単元について

先日の法改正により，選挙権は18歳に引き下げられた。来夏より施行されることによって，生徒たちは3年後の今日是有権者である。この法改正は，世代間格差の解消の他，若年層の政治参加も期待されている。しかし，政治やそのはたらきを自分事として考えられなければ，現時点でも低投票率にあえいでいる若年層の政治参加はおぼつかないとする。そこで，政策判断を疑似体験する教材によるシミュレーション授業を提案したい。近未来に起こりうる課題について，多くの生徒は有権者として対峙することになると思われる。そこで，政策判断を疑似体験することにより，より政治を身近にとらえることができるのではないかと考える。今回，取り扱うのは地方創生である。過去，地域振興の施策は，それこそ数え切れないほど行われ，多額の予算が投じられてきた。しかしながら，そのいずれもが成功したとは言いがたく，さらに人口減少とそれにとまなう少子化は，もはや農村部の過疎地だけの課題ではなくなってきている。こうした課題を解決する難しさは，地域のまちづくりに対する認識のずれや思いの違いに由来する。

本学級は指導者が担任を務めるクラスである。一斉学習の場面では，積極的に発言・発表する生徒がいる一方で，なかなか自分の思いをクラスの中で表現することが難しい生徒も多い。しかし，指名するとしてしっかり自分の考えを発表することができることから，決して考えることをあきらめているわけではない。つまり，自分の意見を全体の場で自ら進んでの意見表明することにはためらいがみられるといえる。一方，少人数での意見交流や討論では，なかなか議論に参加できない生徒は少数で，お互いが遠慮なく自分の意見を表現しあうことはできているように見える。この授業までに，シミュレーション教材を取り扱った授業として，模擬投票・模擬裁判の授業を行っており，どの生徒もそれぞれ意欲的に取り組む姿が見られた。

地域の課題の解決をめざす本授業では，2018年を舞台に仮想の村落である東雲村に関わる18歳の有権者たちによる政策決定をシミュレートする。それぞれの役割に仮託した生徒の判断と互いの合意によって，どのような「よりよい地域の将来像」を描き，どのように互いの利害を調整して，政策判断を行っていくのが焦点となる。そこで，生徒同士の協働を期して，知識構成型ジグソーを用いる。ロールプレイの要素をとり入れ，役割をもって話し合いに参加することで，グループ活動が活性化し，生徒同士の協働が生まれると考える。すべての担当者が持ち帰った課題は，東雲村のまちづくりに関する諸課題である。それらをどのように調整し，どのように政策決定を行うか。これを事前に互いの対話を通じて共有したよりよい地域のイメージにもとづいて行う。その後，政策決定の過程を振り返ることで，政策判断を行う難しさを体験させた上で，自分たちの政策判断についての考えを，「よりよい地域の未来像」のイメージから説明することができるようにさせたい。

指導目標

1. 将来にわたって政治参加することに対する関心を持たせ，意欲を高めさせる。
2. 日本の社会が抱える課題について，資料をもとにして自分の意見を主張できるようにする。
3. 日本の国政・地方自治のしくみについて，正しく理解できるようにする。

指導計画

現代の民主政治と社会（全18時間）

1. 現代の民主政治…………… 5 時間
2. 国の政治のしくみ…………… 7 時間
3. 地方の政治と自治…………… 4 時間
4. みんなと一緒に考えよう，みんなのために考えよう…………… 2 時間
 - ・地方創生と地域の課題…………… 1 時間
 - ・東雲村を救え！2035…………… 1 時間（本時）

本時の目標

それぞれの立場から意見を出し合い、「よりよい地域の未来像」をイメージして政策判断をすることができる。

「グローバル時代をきりひらく資質・能力」の視点

本授業では、教材として異なる価値観をもつ人々の合議をロールプレイの形で行い、異なる価値観をもつ人々の合議を知識構成型ジグソーにより展開する。このことにより、多様性をもとに協働性と主体性（意思決定力）の向上を期している。

学習の展開

学習活動と内容	指導上の留意点（◆評価）
1. 導入（10分） <input type="checkbox"/> 前時の振り返り 前の時間に何を勉強したでしょう。 ・地方創生 地方の問題をいっぺんに解決する方法ってないかな。 ・無理！ ・難しい <input type="checkbox"/> 課題認識 今日学習する東雲村が置かれている状況を理解しましょう。 2. 展開（35分）	<input type="checkbox"/> 最近のニュースなどを話題に出して，前時の学習内容と関連づける。 <input type="checkbox"/> 現実にはすべての課題を同時に解決するのは時間や費用の面で難しいと説明する。 <input type="checkbox"/> 東雲村の状況を，パワーポイントと資料を利用し，データをもとに客観的に示す。
よりよい地域を残していくために，何が必要だろう	
<input type="checkbox"/> 役割分担 4人班をつくって，それぞれの班でくじを引いて，当たった役割をしてもらいます。 <input type="checkbox"/> ビジョンの確定 4人で話し合って，以下の空欄に入る言葉を考えよう。 「東雲村を〇〇な村にする」 <input type="checkbox"/> 関係者会議 それぞれの決められた場所に移動しましょう。 地主の子→村の集会所	<input type="checkbox"/> 地主の子，診療所の医師の子，役場の職員の子，専業農家の子の4役を割り振る。 <input type="checkbox"/> 生徒は，自分の役割を確認する。 <input type="checkbox"/> ここで考えたビジョンをもとに，それぞれの担当者が持ち寄る課題を考えることを意識させる。 <input type="checkbox"/> 役割毎に関係する集会に出席（ジグソー），それぞれの集会では，自分の立場で村の将来をど

<p>医師の子→診療所 職員の子→村役場 専業農家の子→農協</p> <p>□東雲村内会議 担当者が帰ってきたら、それぞれの会議の内容を交流して、何を決めなければならないか確認しましょう。</p> <p>□交流 それぞれの班が、よりよい東雲村をめざして、どのような政策を行うことになりましたか、村長は村の政策を発表してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちは、東雲村を伝統を大切にするような村にしようと思い、祭りを中心としたまちづくりを行うようにしました... ・私たちは、東雲村を新しい農業で発展する村にしようと思い、大規模農場をつくることにしました... <p>3. まとめ (5分)</p> <p>□交流 ワークシートに、今日の東雲村をめぐる議論の振り返りとして、よりよい地域を残していくために何が必要と考えたかを記入させる。</p>	<p>のように考えるかを協議する。</p> <p>○関係者会議が終了次第、すばやく4人班の隊形に戻るよう指示し、どのような政策を打ち出すか話し合わせる。</p> <p>○それぞれが持ち帰った内容を持ち寄り、最終的にどのような政策を行うか、その結果がどのように「よりよい東雲村」につながるかを考える。</p> <p>○机間指導では、ビジョンにもとづいた政策になっているかをチェックさせながら、考えるようにながす。</p> <p>○それぞれの班が、「東雲村を〇〇な村にする」というビジョンとともに、どのような政策決定を行ったかを発表する。</p> <p>○残りの授業時間によって、発表の形を工夫する。</p> <p>◆よりよい地域像をイメージした政策判断ができているか。(発表・ワークシート)【社会的な思考・判断・表現】</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

参考文献

小原友行, 『論争問題を取り上げた国際理解学習の開発』, 明治図書, 2006

杉江修治, 『協同学習入門』, ナカニシヤ出版, 2011.

藤原孝章, 『シミュレーション教材「ひょうたん島問題」多文化共生社会ニッポンの学習課題』, 明石書店, 2008.

木下斉, 『地方創生のリアル』, 東洋経済オンラインHP (<http://toyokeizai.net/category/chihou-real>)
2015. 11. 3現在